

保育園に「名寄のひまわり」

6日、杉並区の交流自治体の北海道名寄市から届いた30株ほどのひまわりが、杉並区立馬橋保育園（高円寺南3-16-14）にプレゼントされました。このひまわりは、鉢植え用に品種改良されたもので、高さ30cmほどですが、すでに花を咲かせています。今後は、保育園で一足早い夏の気分を楽しむことにしています。

杉並区と平成元年に「交流自治体協定」を締結している名寄市は、北海道の北部に位置し、大自然に恵まれたまちです。基幹産業は、農業でもち米やアスパラガスの産地として有名です。また、最近ではひまわりが咲き誇るまち「ひまわりのまち」としても注目されています。ひまわりの種を原料にしたクッキーやサンフラワーオイルなど人気の商品も産み出されています。

名寄市のひまわりは、7月下旬から8月上旬にかけて、市内の各地で見ることができます。その面積は、60ヘクタール（東京ドーム13個分）の広さがあり、総本数は500万本以上となります。また、名寄市で開催されたマラソン大会にゲストとして招待されたオリンピック女子マラソンのメダリスト有森裕子さんが、「ひまわり大使」に任命されPR活動を行っています。

6日午前11時、区立馬橋保育園の年長クラスの15名が、区役所を訪問。30cmほどのひまわりとしては、背の低い「グッド・スマイル」という品種で、可憐な小さな花を咲かせています。15名の5歳児クラスは、偶然にも「ひまわり組」で、30株あまりのひまわりをプレゼントされると、うれしそうな笑顔を見せていました。ひまわりは、保育園に持ち帰り、みんなで一足早い夏の気分を味わうこととしています。



【報道機関 問い合わせ先】

文化交流課： TEL：3312-2111 内線 3055

総務部広報課： TEL：3312-2111